



鈴木嘉彦 略歴

2012年3月31日 山梨大学を定年退職しました。

1947 (昭和22)年	山梨県生まれ (本籍地 山梨県大月市)
69 (昭和44)年	山梨大学工学部電子工学科卒業
74 (昭和49)年	東京工業大学大学院電子工学専攻 博士課程修了 (工学博士)
1974年	4月山梨大学講師、11月助教授 (工学部)
1989年	山梨大学教授 (工学部)
1986-87年	米国UCLA客員研究員
2004-07年	大学院医学工学総合教育部長、工学部長

30代までは主に非線形回路網の解析を中心に非線形システム理論とその工学への応用の研究を行ってきた。

40代になってから地球規模での環境問題の根源が、地球の物質的閉鎖性にあることに気づき、以後地球環境問題の解決をめざして研究教育ならびに普及啓発活動を行っている。

1998年4月山梨大学工学部に新設された循環システム工学科の学科長を勤めた後、2002年4月創設された大学院工学研究科の独立専攻「持続社会形成専攻」に所属を替えた。さらに2003年大学院の部局化に伴い現在の所属となった。

循環システム工学科では、物質の循環、経済の循環、情報の循環、を理解した総合的な環境問題への対応が可能な技術者を育成するため教育研究を行ってきた。さらに持続社会形成専攻、環境社会創生工学専攻では、循環だけでなく、共生と参加、を加えた総合的な教育研究を目指した教育研究を行った。

原則的には自転車や公共輸送機関を利用し、自宅でも太陽光発電を行うなど環境に負荷を与えない生活スタイルを心がけている。持続可能な社会を地球のミニモデルといえる山梨県で世界で最初に実現すべく種々の活動を行っている。

著書：「持続可能社会のつくり方」日科技連出版

共著「循環型社会入門」オーム社、「人間と情報」山梨日日新聞社、「地域と情報」山梨日日新聞社、など

論文：国際産業連関表を利用したCO₂排出量の推定方法に関する精度分析、環境科学会誌:Vol.12(2):197-210(1999)、など多数

やまなしエコネットワーク代表

公益財団法人「山梨総合研究所」理事

山梨県小水力利用推進協議会会長

NPO法人「やまなし県民政策ネットワーク」理事長などを務めている。